

生命いのちの言葉 平成二十九年七月

ごくありふれた日常のなかに、
さりげなく、ひっそりと、
幸福はかくれています。

やなせたかし

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉
七月

「健康でスタスタ歩いているときには
気がつかないのに、病気になるてみると、
当たり前前に歩けることが、どんなに
幸福だったのかと気づく。幸福は本当
はすぐそばにあつて、気づいてくれる
のを待っているものなのだ。」

『やなせたかし 明日をひらく言葉』PHP文庫

やなせたかし

大正八年（一九一九）〜平成二十五年（二〇一三）。

日本の漫画家、絵本作家、詩人。高知県生まれ、本名は柳瀬崇。主な作品に絵本『やさしいライオン』『チリンのすず』（フレーベル館）、作詞に『手のひらを太陽に』『それいけ！アンパンマン』など。九〇年、勲四等瑞宝章受賞。九五年、日本漫画家協会文部大臣賞受賞。晩年には日本漫画家協会理事長を務めた。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



今日の祝日

【海の日（十七日）】海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日。

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国うつくぶり」